

## ◆青少年教育

メディア:DVD:D、V:ビデオ 対象:幼稚園児:幼、小学生:小、中学生:中、高校生:高、青年:青、教員:教、PTA:P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
青少年教育		1118	スマホは情報モラルが大切 1巻 ネットいじめをしない！ SNSでの出会いに気をつけよう！	D	25	小中高青教P	本作品は、ドラマ編と解説編で構成され、視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとしています。●ネットいじめ(咲良、加恋、悪口をエスカレートさせていった友人たち、それぞれの立場にたって、自分だったらどんな行動をとるか、どんな返信をするか、視聴する生徒に考えさせる内容になっています。)●SNSでの出会い(SNSを通じて知り合った相手に自撮り画像を送ったり、実際に会おうとすることで、どういうことが起こる可能性があるのか。危険を予測することの大切さを伝えます。)
青少年教育		1119	スマホは情報モラルが大切 2巻 もう一度よく考えよう！ 写真や動画の投稿	D	18	小中高青教P	本作品は、ドラマ編と解説編で構成され、視聴した生徒が、ドラマの中の出来事を自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙いとしています。●個人情報流出(SNSに投稿した写真に、個人が特定できる情報が潜んでいる場合があります。誰かの投稿を集め、他の情報とパズルのように組み合わせることで個人を特定する人もいるので、細心の注意を払う必要があります。)●炎上(社会上・モラル上問題がある動画を投稿することで、炎上が起こる可能性があります。そのことで自身や周囲の情報が流出したり、将来に渡って影響を及ぼすこともあります。よく考えて動画を投稿することが大切です。)
青少年教育		1123	いわれなき 誹謗中傷との闘い スマイリーキクチと考える インターネットにおける人権	D 字幕 副音声	20分	中高青教P一般	ネットでの誹謗中傷やデマがたいへん大きな問題となっています。ネット上の誹謗中傷により、命まで落とす人もいますし、社会的にたいへん大きなダメージをうけることもあります。 この作品では、根拠のない誹謗中傷により、20年以上にもわたって大きな被害を受け、現在にいたるまで誹謗中傷を受け続けながらも、誹謗中傷と闘い、乗り越えていく経験をお持ちのスマイリーキクチさんに出演いただき、ネットの誹謗中傷の現実と対策、そして人権的な課題について、実際の事例をもとに考えていきます。
青少年教育		1125	18歳が知るべきこと 成人になる人が知るべき注意 点と心構え	D	13分	高青教P一般	成人年齢が2022年4月から、現行の20歳から18歳に引き下げられました。約140年ぶりに成人の定義が見直されることで、何がかわるのか、私たちの暮らしにどのような影響がもたらされるのでしょうか。普段、買い物をするだけでも、私たちは契約をしています。買い手が欲しいと意思表示をし、売り手がそれに了承したとき、つまり消費者と事業者が商品の内容、価格、引き渡し時期などで合意したときに契約は成立します。契約は法的な拘束が生じる約束ですので、未使用でもレシートがあっても、消費者側の一方的な都合で解約することはできません。これは商品の金額の高い安いにかかわらず、守らなければならない大切な社会的ルールなのです。「契約は守らなければならない」のが原則ですが、消費者トラブルになりやすい取引については、契約をやめることができる特別な制度としてクーリング・オフがあります。 成人年齢が18歳に引き下げられたことで、私たちの暮らしにどのような影響があるのか、成人になる人が知るべき注意点と心構えを知ってもらうために制作しました。

メディア: DVD: D、V: ビデオ 対象: 幼稚園児: 幼、小学生: 小、中学生: 中、高校生: 高、青年: 青、教員: 教、PTA: P

大分類	小分類	番号	作 品 名	メディア	時間 (分)	対象	内 容
青少年教育		1132	ティーンのためのSNS教室 ～いつも心に情報モラル～② (迷惑動画・闇バイト 編)	D 字幕 副音声	24分	小中高青 教P	<p>多くの中学生・高校生がスマホでSNSを利用しています。</p> <p>SNSは情報発信や収集、コミュニケーションを手軽に行える便利なツールである一方で、その使い方を誤ると友人との関係に問題が生じたり、事件に巻き込まれたりするといった危険が潜んでいます。</p> <p>SNSを安全かつ正しく利用するためには、一人ひとりが情報モラルを身につけることが大切です。</p> <p>本作品では、誤ったSNSの利用によってトラブルに巻き込まれる子どもたちの事例を、ドラマ形式で描きました。</p> <p>ドラマの事例からどのようにしてトラブルを避けるのか考えさせ、情報モラルを身につけることをねらいとします。</p>